

# Hara Museum of Contemporary Art

鈴木昭男／恩田晃 デュオ・パフォーマンス 2014年9月20日[土]



日本を代表するサウンド・アートの先駆者、鈴木昭男(すずき あきお)とニューヨークを拠点に世界中で活躍する恩田晃(おんだ あき)が、原美術館で一夜限りのパフォーマンスを行います。

鈴木昭男と恩田晃は、世代も演奏スタイルも活動拠点も異なりますが、創作への価値観を共有し、各地で「音」と「場」の関係性の探求を続けています。オリジナル楽器「アナラポス」や、フィールド・レコーディングを行なったカセットテープなど、それぞれ特殊な楽器を用いて演奏を行い、無限の音の世界へ多様なアプローチを行なっています。

二人は過去数年、ヨーロッパのフェスティバルに頻繁に招待され、その場に特有な響きや環境音に呼応しながら演奏する、サイト・スペシフィックなパフォーマンスを重ねてきました。また、今年4月には、デュオとしてのファースト・アルバム「ma ta ta bi」が、カナダのレーベルよりリリースされました。これは昨年ブリュッセル郊外の工場跡地で行われたパフォーマンスをドキュメントしたもので、独自の質感をもって描かれる音の風景が聴く者を魅了しています。

今回は、ヨーロッパで多数のコンサートを重ねてきた二人の東京で初めてのパフォーマンスとなります。このまたとない機会に、類い稀なアーティストたちによる音の冒険をお楽しみください。

日時 2014年9月20日[土] 17:00 開場 17:30 開演

出演 鈴木昭男、恩田晃 [www.akiosuzuki.com](http://www.akiosuzuki.com) [www.akionda.net](http://www.akionda.net)

会場 原美術館ザ・ホール 東京都品川区北品川 4-7-25 Tel 03-3445-0651 [www.haramuseum.or.jp](http://www.haramuseum.or.jp) チケット  
4,000 円(入館料・税込み)

ご予約開始日時 2014年8月6日(水) 11:00 \*メール件名[「鈴木／恩田デュオ・パフォーマンス」申込]として、お名前、メンバーの方は会員番号、電話番号、ご予約人数(おひとり3枚まで)をお書き添えの上、[event@haramuseum.or.jp](mailto:event@haramuseum.or.jp) までお申込下さい。また、原美術館受付でも承ります。

\*料金は公演当日の精算となります。入場整理番号を添えた受付確認メールを返信いたします。3日以内にご返信のない場合、おそれいりますがご連絡をいただければ幸いです。なお、キャンセルの可能性のあるお申込はご遠慮ください。

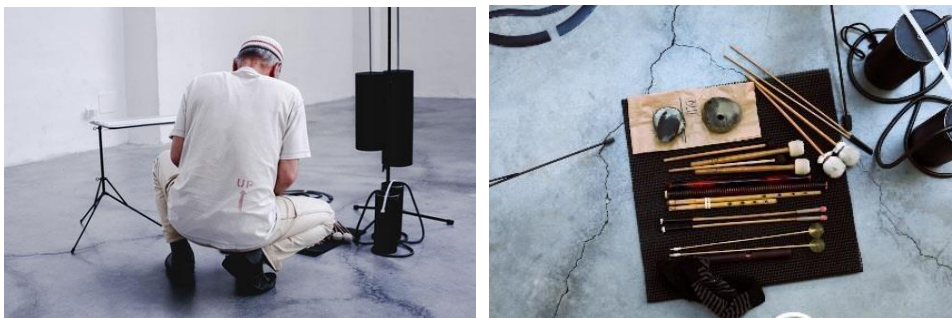
\*当日公演前 11:00-17:20 まで、開催中の展覧会『「アート・スコープ」—旅の後(あと)もしくは痕(あと)』(出品作家:今村遼佑、大野智史、リタ・ヘンゼン、ベネディクト・パーテンハイマー)もご覧いただけます。

交通案内 JR・京浜急行「品川駅」高輪口より徒歩 15 分／都営バス「反 96」系統「御殿山」停留所下車、徒歩 3 分  
／京浜急行「北品川駅」より徒歩 8 分

主催 原美術館

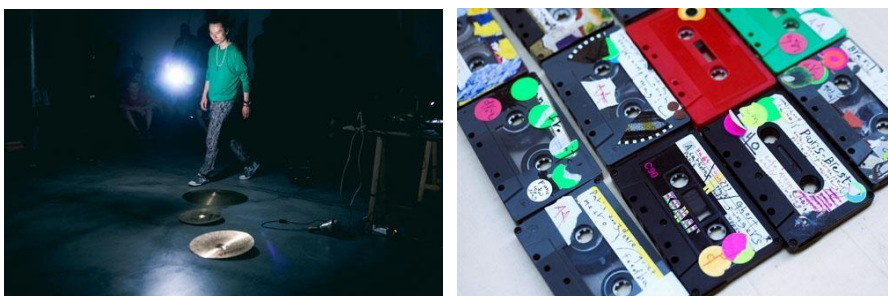
音響 株式会社 SHOUT 山本哲哉

鈴木昭男 Akio Suzuki



日本を代表するサウンド・アーティストのひとり。63 年、名古屋駅中央線ホームの階段で行われた「階段に物を投げる」のパフォーマンスで音の世界に目覚め、自修イベントを展開する。70 年、エコー・インストゥルメント「ANALAPOS(アナラポス)」を発明し、創作楽器の制作を開始する。78 年、武満徹に招かれ、パリのフェスティヴァル・ドートンヌでの海外で初めてのパフォーマンスを行う。88 年、子午線上の京都府網野町で「日向ぼっこの空間」を発表し、そこで一日自然の音に耳を澄ます。90 年代に入りサウンド・アート界の隆盛に伴い、ヨーロッパを中心として数多くのインスタレーションを手掛ける。特筆すべきは 96 年に開始した街のエコーポイントを探る「点音(おとだて)」プロジェクトで、これまでに 30 都市以上で開催されている。ドクメンタ8(カッセル)、ドナウエッシンゲン現代音楽祭(ドイツ)、ザールブリュッケン市立美術館(ドイツ)、大英博物館(ロンドン)、ザッキン美術館(パリ)など、過去数十年に渡り、世界有数の美術展や音楽祭に招待されている。2014 年は、3 月にニューキャッスルの AV・フェスティバルで大規模な個展と「点音」を発表、6 月にはベネチアのプラダ・ファンデーションでの“Sound or Art”展へ参加、ヨーロッパ各地でのパフォーマンスなど、ますます活動の幅を広げている。 [www.akiosuzuki.com](http://www.akiosuzuki.com)

恩田晃 Aki Onda



ニューヨークを拠点にし、世界的に活躍するサウンド・アーティスト。88 年、カセット・ウォークマンを使ってフィールド・レコーディングを始め、その音源を使って作曲やパフォーマンスを行うことで知られている。2003 年、ニューヨークに移住した直後に発表した『Ancient & Modern』と『Bon Voyage!』の「カセット・メモリーズ」のアルバムがメディアで絶賛される。それ以降、PS1MoMA、The Kitchen(ニューヨーク)、Time Based Art Festival(ポートランド)、Image Festival(トロント)、ICA(ロンドン)、ルーブル美術館、ポンピドゥー・センター、ファンデーション・カルティエ(パリ)、アルゴス、ボザール(ブリュッセル)など、欧米各地の重要な音楽祭、芸術センターに招かれている。「カセット・メモリーズ」以外にも、現在進行中のプロジェクトは、ニューヨークの前衛映画の巨匠ケン・ジェイコブスとの「ナーバス・マジック・ランタン」プロジェクト、美術作家ラハ・レイシニヤとのコラボレーション、カナダの美術作家マイケル・スノウ、ギター奏者アラン・リクトとのトリオ、パリの伝説的なトランペット奏者ジャック・ベロカル、ヴァイオリン奏者ダン・ワーバートンとのトリオなど、多数。音響、即興、映像、写真など、いくつものメディアを自由に横断しながら、何処にも属さないボヘミアンなスタンスは類い稀である。 [www.akionda.net](http://www.akionda.net)

Photos / upper left on the first page: by Rebecca Shatwell the rest: by Michela Di Savino

取材・図版提供などのお問い合わせ先: 原美術館 広報 松浦、野田 Tel 03-3280-0679 Fax 03-5791-7630  
E-mail [press@haramuseum.or.jp](mailto:press@haramuseum.or.jp) (いずれも広報直通/掲載時には代表番号・アドレスをお用ください)